



京都唯一の酒場街、木屋町。酒の飲み方をこの地で覚えた者も数知れず。「今宵は木屋町で」と言えば、背伸びしつつも本物の大人になると努力したひと昔前。今ではチャラけた輩で入り乱れ、大人街の威厳も微塵、とにかくハリがない。この状況に「もう見てられん」と立ち上がった木屋町をこよなく愛するサポーター陣。木屋町活性化を図るイベントも早3回目を迎えた。

回を重ねるイベントは、コンセプトがぼやけマンネリ化するリスクを持つ。賑々しさは変わらぬもの、振り返ればメンツは誘い合わせた身内陣が目立ち…という結末も珍しくない。とりあえず看板掲げて、スポンサー集めて、大御所呼んで…、ハイッ宴！だけ終わらせない努力も必要になるだろう。木屋町活性化へのスタメン有力候補、言うなればイベント趣旨に賛同する若者の新規参入に期待したい。



A. オープニング当初から働いてるという、エースカフェスタッフの淳子さん。「木屋町好き。だからイベントも皆勤中です」
 B. ヒソヒソ話中なのは木屋町10年戦士という石原ご夫妻。その内容は？「今後の木屋町の在り方について」…さすが！
 C. 若手の意気に賛同して馳せ参じた、祇をん「八咫」社長でもある大御所飲食プロデューサー、川村裕文氏（右）。お隣はrhythmのイサイさん
 D. 「バーに遊びに来い。パーティーも飲んでるし（笑）」とドリー氏。インテリアデザイナーのチカさん（左）とMCタカさんに挟まれ両手に花状態
 E. バイトつながりという秘書の梨恵さん（左）と事務の由香さん。「木屋町ではたまに遊ぶくらいだよ〜」。この現状を何とかしなければ
 F. 今宵はハイネケンガールも気合一発で木屋町活性化祈願？ 聖なるサンタバージョンでお仕事中の、原田久美子さん（右）と長谷川友美さん
 G. 代理店営業マンの辻本さん（右）と五鬼上さん。京都でブイブイ勢力拡大中？とはいえ「木屋町の夜はまだまだ初心者です」
 H. あら。ちょっと飲みすぎちゃいました？
 くだ〜&でろ〜んと揚舞中？は京都系雑誌社の営業マン、中野さん。アンタ何しに来たの？